

### スポーツ・芸術・余暇活動の支援の検討状況

#### 今後の課題（中間報告書より）

##### ◆ スポーツ・運動機会の充実

東京2020大会のレガシーとして、障害の有無に関わらず、誰もが生涯を通してスポーツ・運動に親しみ、楽しめる機会を創出するなど、スポーツを通じた共生社会の充実を図ることが重要です。そのためには、障害者が参加しやすいイベントや事業の開催、日常的に身体を動かすことができる場の確保などに取り組み、障害者の生活の充実や健康づくりを進めていくことが必要です。

#### 主な取組

##### (1) あおぞらサッカースクール

利用者の障害特性に応じた受入れ体制を整備した市内事業者に対し、事業の運営経費の一部を補助することにより、障害児（者）が継続的に運動できる場を提供、運動不足の解消と健康維持を図る。

##### 【令和2～4年度の実績】

年度	開催回数（回）	延べ参加者数（人）
2年度	12	344
3年度	9	354
4年度	13	555

##### 【令和5年度の取組】

定例スクールを3クラスから4クラスに増加（1クラスあたり年間10回）。

##### (2) 調布市障害者スポーツの振興における協議体

福祉分野とスポーツ分野の関係者が一堂に会し、障害者スポーツに関する各団体の現状や課題を持ちより連携の可能性を探る場。ニーズや課題を把握したうえで、障害者向けのスポーツや運動活動事業、地域の支え手の育成・充実のための事業実施を通じ、障害者スポーツの振興を図る。

##### 【令和2～4年度の実績】

協議体事業の柱	実施内容
柱1 平日のスポーツ活動の充実 指導者を派遣し、エクササイズやレクリエーションなどを作業所の職員も含めてレクチャー	・福祉作業所への指導者派遣
柱2 余暇のスポーツ活動の充実 エクササイズやレクリエーション 施設に自ら通い身体を動かす習慣づけのきっかけづくり	・スポーツ施設の利用体験 (武蔵野の森総合スポーツプラザ)
柱3 協議体参加団体のための講習会 学識者を招いた講演会や講習会を実施	・障害者のスポーツ活動に関する講演会 ・他自治体視察

##### 【令和5年度の取組】

既存事業の継続・拡充のほか、下記事業を新規で実施予定。

- ア 柱1 総合体育館における障害者の利用促進事業（調布市スポーツ協会）
- イ 柱2 障害当事者の運動機会創出事業（調布市スポーツ推進委員会）

#### 今後の課題（中間報告書より）

##### ◆ 文化芸術活動の充実

障害児・者が絵画、音楽などの文化芸術活動に参加したり、楽しんだりする場、機会の充実が必要です。障害児・者本人の新たな能力の発揮による生活の充実に加え、活動を通じた地域との交流や障害理解の推進も期待されます。

#### 主な取組

##### (1) 調布市パラアート展

東京2020大会の開催を契機として障害者スポーツのみならず、文化芸術の発展に繋げるため、調布市福祉作業所等連絡会との共催により、市内の福祉作業所や特例子会社で制作されたアート作品を展示する「調布市パラアート展」を開催している。

##### 【令和5年度の取組】

多くの方に関心を持っていただき、文化芸術の振興を通じた共生社会のより一層の充実につなげていくことを目的に、「パラハートちょうふmeets ART 2023」と題し、「パラアート展」とその応援企画「ビッグハートプロジェクト」を実施。

##### ■ 調布市パラアート展2023

（日 時）令和5年8月22日（火）～27日（日） 文化会館たづくり南ギャラリー  
（展示内容） 市内の福祉作業所等が日常の活動の中で自由に制作した作品

##### ■ ビッグハートプロジェクト

パラアート展の応援企画として、今年度新たに実施。“パラハートちょうふ”にちなみ、カラフルなガムテープでつくる手のひらサイズのハートを繋ぎ合わせて大型アート作品を完成させる。

#### 今後の課題（中間報告書より）

##### ◆ 多様な余暇活動の場・機会の確保

就労や施設での日中活動以外での、地域生活をより豊かにしていくものとして、障害特性に応じた様々な余暇活動、学習等を経験し、楽しむことのできる場、機会の充実が必要です。活動を広げていくにあたり、ボランティアを含めその担い手を継続的に確保していくことも課題です。

#### 主な取組

##### (1) 障害者余暇活動支援事業（ほりで～ぶらん）

障害の重さや社会的障壁を理由にスポーツ等余暇活動を行う機会が少ない障害者に対し、余暇活動の場を提供することにより運動不足の解消と地域生活の充実を図るもの（作業所等連絡会に委託）。

【令和2～4年度の実績】※ 令和2年度～3年度は、新型コロナウイルスの影響に伴い縮小して実施

年度	開催回数（回）	延べ参加者数（人）
2年度	※ 3	17
3年度	※ 4	66
4年度	6	91

##### (2) 杉の木成年教室、遊 i n g

障害児・者を対象にスポーツや工作教室等の活動を通じて、様々な社会体験に参加する機会の提供。